

SHIRAKOBATO

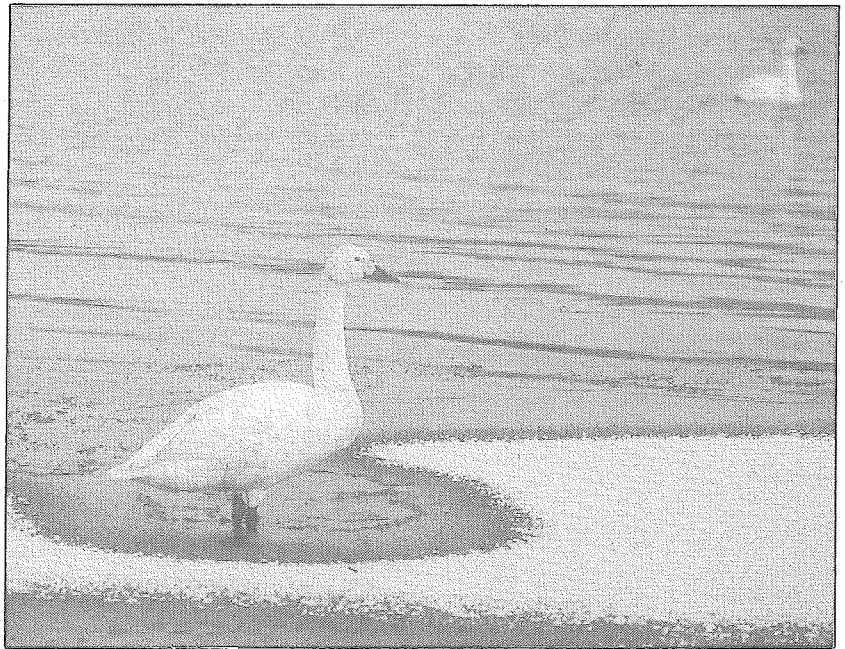
しらこぼと



1992. 2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 93

日本野鳥の会 埼玉県支部

長瀬（荒川）

ひなたぼっこ探鳥コース

地質学で有名な長瀬は、四季を通じて観光客が絶えず、鳥を見るには、あまり適していません。しかしながら、観光客は我々鳥見人とは違い、岩畳周辺や宝登山神社辺りしか見物しませんので、本当の良さを見ていないと思います。

今日は、下流の冬の散策コースを歩いてみましょう。

秩父線長瀬駅におり立つと、駅前左隅に渋沢栄一書「長瀬は天下の勝地」の碑があります。踏切を渡り左に折れて直ぐ右に曲がる。川沿いに桜並木の道を下流に向かって進むと何箇所か、河原におりる道があります。

河原は広々して気分が良いのですが、下水の流れ込みがあるところはうんざりするので、そこは避けます。石の上にはキセキレイ、斜面林にはアトリやカラ類が定期的に回ってきます。

対岸の水辺に目をやると、鴨の群れの中にオンドリのカラフルな姿が見られます。

一度上に上がって下流の水道橋を渡りましょう。橋の上は寒いけれど景色は最高です。どこかにヤマセミはいませんか、カワセミはいませんか。

右手に白い建物が見えます。ここが白鳥荘



です。老人と母子家庭の保養施設です。この辺りは良く整備されているので快適に散策できて、エナガやジョウビタキなどの山里の鳥が観察できます。

冬の柔らかい陽射しの中、この辺りをのんびり歩いていると、アオゲラが大きな声でクヌギの木のとっぺんで鳴いたり、抜けるような冬の青空にノスリが輪をかいたりしてくれたら、もう、最高です。

帰りは水道橋を渡って右へいくと野上駅へ、左へいくと長瀬駅へ戻ります。

山の鳥が見たい人は、宝登山神社から参道を登りながらのコースもありますが、バイクや4WD車が多くあまりお勧めできません。上流の上長瀬方面も、早朝はおもしろいですが、やはり車や人が多いので探鳥向きではありません。

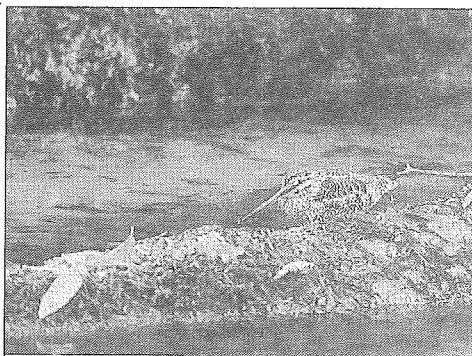
長瀬周辺は東京から近いこともあり、最近週末には道路はかなり混雑します。河原はカヌーに占領された感があり、日中はあまり鳥は期待できません。しかしながら、真冬の荒川は人が少なく楽しめます。一度出掛けてみませんか。

ひなたぼっこも秩父の人もあったけえよ。
(美里町・林滋)



探鳥会での出現鳥 リスト (過去4回)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. カイツブリ | 23. キセキレイ |
| 2. コサギ | 24. ハクセキレイ |
| 3. マガモ | 25. セグロセキレイ |
| 4. カルガモ | 26. ヒヨドリ |
| 5. コガモ | 27. モズ |
| 6. オナガガモ | 28. ジョウビタキ |
| 7. トビ | 29. ツグミ |
| 8. オオタカ | 30. ウグイス |
| 9. ハイタカ | 31. エナガ |
| 10. クマタカ | 32. シジュウカラ |
| 11. チョウゲンボウ | 33. ホオジロ |
| 12. コジュケイ | 34. カシラダカ |
| 13. キジ | 35. アオジ |
| 14. イカルチドリ | 36. カワラヒワ |
| 15. クサシギ | 37. イカル |
| 16. イソシギ | 38. シメ |
| 17. キジバト | 39. スズメ |
| 18. ヤマセミ | 40. ムクドリ |
| 19. カワセミ | 41. オナガ |
| 20. アオゲラ | 42. ハシボソガラス |
| 21. コゲラ | 43. ハシブトガラス |
| 22. ヒバリ | |



(7/14) 獣・鳥
あけまして おめでとう ございます
ちょっと早めですが今年が **さると**
来年は **とり** の出番です。
今年を大切にしましょう。



0143 大田区大森北

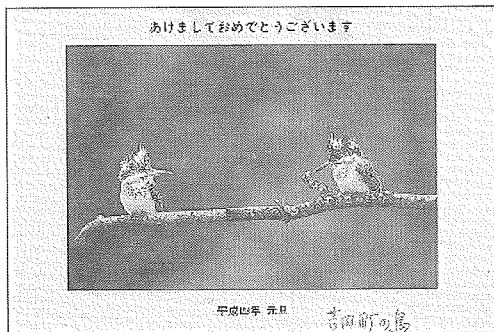
小林 裕明・章子
亮・直・リサ

クイズ 埼玉県長瀬地方の方言集

皆さん、全部分かりますか。県内にも随分面白い方言があるものですね。これらはごく一部です。

私はこの方言を、2月11日(火)の長瀬探鳥会で全部使うつもりです。

クイズとしてのおもしろさを出すため、ニュアンスを少し変えてあります。地元の人には申し訳ありませんがご理解下さい。全問正解の方には賞品を用意しています。出題者(〒367-01)児玉郡美里町 林 滋)までご連絡下さい(正解多数の場合は抽選となります)。正解は92年2月の長瀬探鳥会で発表しますので皆さんご参加下さい。



- | | | |
|---------|---|-----------|
| おっべしよる | • | • たらめ |
| うんめえ | • | • 近道 |
| めっためった | • | • アリ地獄 |
| にたり | • | • おやつ |
| いってんべえ | • | • 郷土料理 |
| そうだんべえ | • | • 農事用側道 |
| てんじょうんち | • | • ノスリ |
| たろっべえ | • | • 急須 |
| すぐじ | • | • ふくろう |
| つみっこ | • | • 冷たい |
| たっぺ | • | • おいしい |
| こじゅうはん | • | • もっともって |
| まぐそったか | • | • 一番わらび |
| ひゃっけえ | • | • 千菜畑 |
| てっこぼっこ | • | • ムササビ |
| とうすくぼ | • | • かじか |
| うんまいれ | • | • 一本 |
| あしつつるし | • | • ネズミの糞 |
| きびしょ | • | • くぬぎ |
| そうげん | • | • 大通り |
| ばんどり | • | • 一日おき |
| ひとへず | • | • 山まゆの幼虫 |
| へしてえおき | • | • ジャッキ |
| おおかん | • | • 霜柱 |
| しらがだゆう | • | • シャクトリ虫 |
| ねずっけえし | • | • 蚕 |
| せんせえ | • | • 大金持ち |
| うたうたい | • | • 気やすい |
| じだんぼう | • | • モズのはやにえ |
| きりん | • | • マツタケ |
| どびんこわし | • | • オオクワガタ |
| おこさま | • | • 熱しがキ |
| でえじん | • | • 高台にすむひと |
| うんだらべえ | • | • 折る |
| さまつ | • | • 柿の一種 |
| もずばっつけ | • | • いてみる |
| はっこい | • | • そうでしよう |
| さくい | • | • アシナガバチ |

地鳴きコーナー

友達

浅田徳次（白岡町）

昨年の秋はたいへん天候不順でした。11月初旬、やっと天気も定まってちょっと冷えた朝、巾10mほどの用水堀で、この辺では初めてカワセミを見ました。

いつも仕事に行く集合場所で、道具や材料を揃えていると、すぐ前の朝霧の立つ用水堀の上を、すーと飛んだ鳥が、カワセミに似ているなと感じたので、まさかと思いつつも橋の上から見ると、たしかに20mほど先のコンクリートの桁の上に、カワセミが止まっていた。

ここは私の生まれ育った実家のそばなので、この堀は四季を通じて思い出の多い川なのです。冬は土手の南面でうさぎの餌取り、氷すべりや、氷の下の魚取り、夏は水草のいっぱいはいえた中をフナやハヤが良く見え、たくさん釣れました。その頃カワセミも来ていたかもしれないけれど、だれもこんなきれいな鳥を見たことは話にありませんでした。

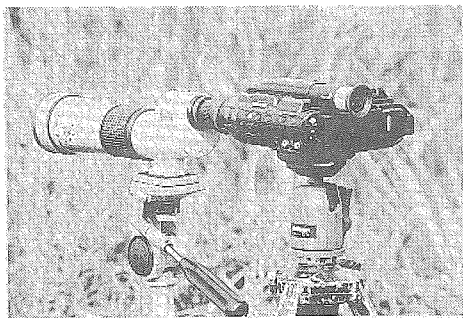
今ではコンクリートになり、水草は全然。あるのは空きカン、ビニールです。今この場所で初めてカワセミを確認できたのも、日本野鳥の会で勉強させてもらったおかげです。そして、こんな環境の悪いところへ、例え一度でもカワセミ君が遊びに来てくれたのも、野鳥の会会員の私がいだからかなと、とてもうれしくなっていました。

8ミリビデオを100倍楽しむ方法

町田好一郎（本庄市）

何年前買って押し入れの片隅に忘れられているビデオが貴方の家にありますか？そうです買った時はうれしさいっぱい、夢中で使用しましたが、それも2～3ヶ月。結局は「何だ、この程度か。」とあきってしまった、そう、あのビデオです。この際、もう一度日向に出してあげませんか。埼玉県支部のあなただけにそっと教える[㊦]情報のために。

あなたの商売道具・フィールドスコープを一寸出してみてください。それから埃にまみれた、あなたのビデオもおついでに。

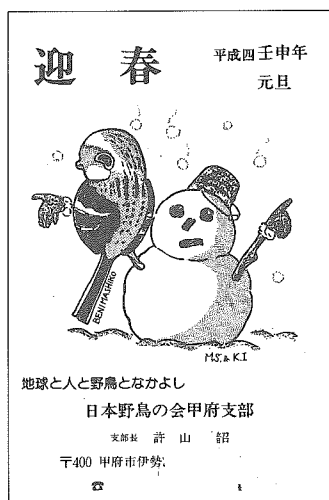


まず、フィールドスコープで、出来るだけ遠方の鳥（何でも0K）を捕らえて下さい。しかる後にビデオのスイッチを入れズームをいっぱい伸ばし、フィールドスコープをビデオで覗いてみて下さい。

「あっと驚く、為五郎…！」ナ、ナントすごい倍率で、ドアップに鳥が見えてきませんか。何回かご自分でお試しあれ。『トライ&エラー』感が判ってきましたね。そうです、その調子です。フィールドスコープが20倍にビデオが8倍ズーム、単純計算で何と160倍ズームに、あなたのビデオが大変身したのです。どうです。この大画面、そっくりそのままTVにコネクト。即、映像が楽しめますぞ。

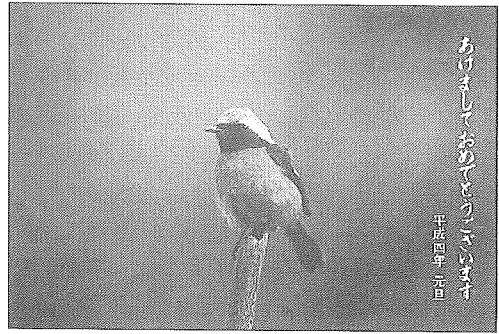
何、まだビデオが無い。これは失礼！

今、支部の内部に徐々に徐々にM式ビデオウィルスが蔓延しつつありますぞ。





手塚正義 (川口市)

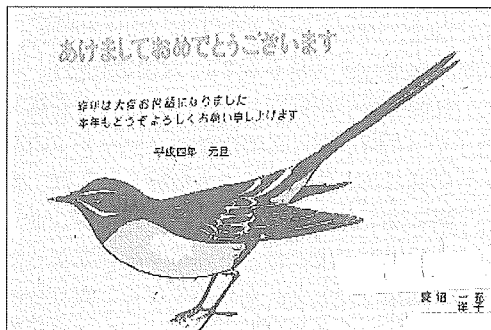


長谷部謙二 (川越市)

新潟バスツアー探鳥会に参加して
田口浩司 (浦和市)

伊良湖岬に続きバスツアー探鳥会は、これで2回目でしたが、今回は、ガン・白鳥など大物が見所ということでワクワクしながらバスに乗り込みました。そして、一夜明けていよいよ第一の探鳥地、鳥屋野潟へ到着しました。カンムリカイツブリの出迎えに始まりコハクチョウの編隊飛行と、眠気を覚ますには十分すぎるくらいのボリュームでした。

続いて訪れたのが、福島潟。バスは、目的地の1km手前に止まり、私達は田んぼの畦道を歩いて行くことになりました。福島潟めざして急いでいると、急に足もとの草陰からコミズクがとびたちました。プロミナに、愛嬌ある姿をいれ覗き込むと、あちらもこっちをぎょろりと一瞥。思わず我を忘れてにらめっこをしてしまいました。しかし此处でのお目当ては、何とんでもオオヒシクイです。葦原越しにオオヒシクイの迫力ある飛翔や、さらには、チュウヒの軽やかな舞を堪能することができました。

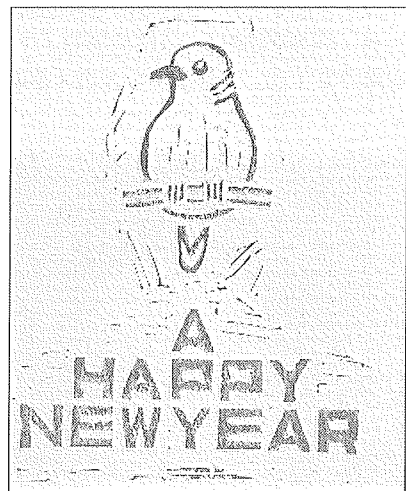


高橋達也 (戸田市)

そして次に訪れたのは瓢湖でした。此处で鳥を見ながらのお弁当タイム。食事後に、湖のほとりをのんびりと散歩すると、水鳥達も泳いでついてきました。私を慕ってついてくるなんて可愛いなぁと見とれることもしばしばあり、ゆったりと鳥達を楽しめました。

初日の探鳥も無事終わり、夜は、懇談会で盛り上がりました。民宿八十八荘のおばちゃんからの差し入れの越乃寒梅に舌鼓を打ち、町田さんや伊藤さんが昼間撮影されたビデオを觀賞するなど、普段の探鳥会では楽しむことができない体験をすることができました。

二日目は、佐潟一周探鳥会。オオハクチョウやヒシクイ・マガンなど大型水禽やハヤブサの狩りを、帰りのサービスエリアではオジロワシまで現れるといった、中身の濃い探鳥会を楽しむことができました。





野鳥情報

アカエリカイツブリ ◇11月26日、志木市の柳瀬川、日本レダリー付近で1羽(中村治)。

アオサギ ◇11月4日、幸手市木立の中川で2羽(秋間利夫)。◇11月25日、志木市の柳瀬川と新河岸川との合流点付近で1羽。ここでは初めて(中司隆由)。

オシドリ ◇11月7日、滑川町の森林公園の分山上沼で♂2羽♀2羽(田中利彦)。◇11月9日、寄居町の玉淀ダムで42羽(小淵謙二)。

ホシハジロ ◇11月10日、浦和市の芝川で7羽(小谷野勝栄)。◇11月25日、志木市の新河岸川、いろは橋～富士下橋間で♂3羽♀4羽(中司隆由)。

キンクロハジロ ◇10月29日、杉戸町大島新田の調節池で1羽(秋間利夫)。

ホオジロガモ ◇11月11日、所沢市久米の松ヶ丘遊水池で1羽(佐藤方博)。

オオタカ ◇11月17日、浦和市秋ヶ瀬のC区で1羽。22日にも観察する(石井 智)。◇11月23日、戸田市道満で1羽(鈴木啓紀)。

ハイタカ ◇11月9日、川本町の芳沼で1羽(小淵健二)。

ノスリ ◇11月7日、滑川町の森林公園で2羽(田中利彦)。

チョウゲンボウ ◇11月11日、浦和市内谷で1羽(小谷野勝栄)。◇11月23日、戸田市道満で♀1羽。鳴きながらスズメを追い散

らしていた(鈴木啓紀)。

ヒクイナ? ◇11月2日、桶川市川田谷の江川沿いのあし原で声を聞く(立岩恒久)。

イカルチドリ ◇11月3日、志木市の柳瀬川高橋～栄橋間で1羽(中司隆由)。◇11月7日、幸手市外国府間の権現堂川で6羽(秋間利夫)。

ムナグロ ◇11月22日、浦和市秋ヶ瀬のAs区で19羽(石井 智)。

ケリ ◇11月23日、坂戸市入西の湿地でタゲリの群れ中に1羽(増尾 隆・節子)。

タゲリ ◇11月1日、浦和市上野田のしらさぎ記念公園そばの田んぼで1羽(大武百合子)。◇11月2日、桶川市川田谷の江川田んぼで10羽。11月16日には、約100羽と50羽の群れ。「ミューミュー」と鳴きながら上空を舞っていました(立岩恒久)。◇11月4日、幸手市木立の中川で10羽(秋間利夫)。◇11月6日、浦和市秋ヶ瀬のA区で18羽(福井 亘)。◇11月23日、坂戸市入西の湿地で15羽(増尾 隆・節子)。

アオアシシギ ◇11月1日、川越市の伊佐沼で1羽(中司隆由)。

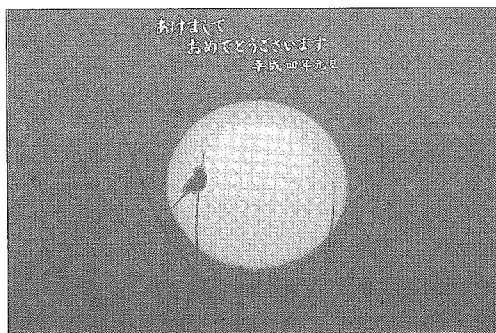
クサシギ ◇11月14日、浦和市下大久保の鴨川排水機場でハマシギ、イソシギの群れ中に1羽(鈴木啓紀)。

コミミズク ◇11月10日、大宮市の深作川で1羽(福井 亘)。◇11月18日、戸田市道満で1羽(小谷野勝栄)。

カワセミ ◇11月1日、川越市の伊佐沼で1羽(中司隆由)。◇11月2日、志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で1羽。ここでは、初めて(中司隆由)。◇11月9日、川本市の芳沼で1羽(小淵健二)。

アオゲラ ◇11月7日、滑川町の森林公園西口近くのコナラの木で1羽(田中利彦)。

ハクセキレイ(ねぐら?) ◇10月28日、JR熊谷駅の新幹線ホームで東京行きを待っていた時、ホームの中がハクセキレイの声に満ちあふれているような感じでした。実際に姿を見たのは3～4羽でしたが、ホームの屋根の上には、もっと多数が集まっているようでした。もしかしたら、ねぐらになっているのではないのでしょうか(小林み



(町田好一郎)

どり)。

ルリビタキ ◇11月14日、入間市の狭山丘陵で4羽(佐藤方博)。

ジョウビタキ ◇11月2日、桶川市下日出谷の農家の庭で♂2羽(立岩恒久)。◇11月3日、寄居町の玉淀ダムで1羽(小淵健二)。◇11月3日、大宮市大成1丁目で♀1羽(浅見健一)。◇11月4日、幸手市木立の中川で♂♀各1羽(秋間利夫)。

ツグミ ◇11月1日、浦和市上野田のさぎ山記念公園の林の中で1羽(大武百合子)。◇11月1日、所沢市北秋津で2羽(佐藤方博)。◇11月2日、本庄市の阪東大橋下流で2羽(林 滋)。◇11月2日、熊谷市新堀で1羽(小淵健二)。◇11月2日、桶川市若宮の自宅上空を「ケッケツ」といいながら2羽(立岩恒久)。◇11月3日、寄居町桜沢で7羽(小淵健二)。◇11月3日、幸手市戸島で1羽(秋間利夫)。

マミチャジナイ ◇11月6日、滑川町の森林公園の彫刻広場で1羽。7日には、大沼付近のアカマツ林で1羽(田中利彦)。

ウグイス ◇10月29日、浦和市の北浦和公園でささ鳴きを聞く(石井 智)。

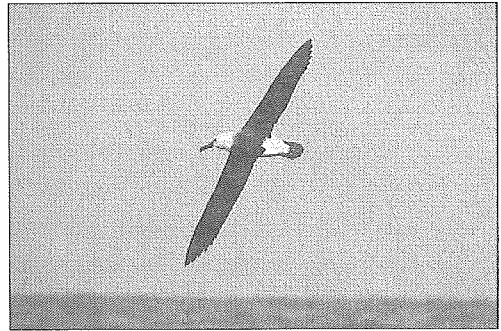
キクイタダキ ◇11月23日、三峰山で1羽(山岸昭治)。

キビタキ ◇11月8日、滑川町の森林公園のはす沼近くの道端で♂1羽。こんな遅い時期に見たのは初めてです(田中利彦)。

エナガ ◇11月9日、寄居町の玉淀ダムで6羽(小淵健二)。

ヤマガラ ◇10月28日、川本町の芳沼で1羽(小淵健二)。◇11月11日、三峰山で5羽(山岸昭治)。

カシラダカ ◇11月2日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。◇11月3日、寄居町



キーバナアホウドリ (吉本富美子)
オーストラリアにて

の玉淀ダムで1羽(小淵健二)。

アオジ ◇11月3日、寄居町の玉淀ダムで1羽(小淵健二)。◇11月11日、浦和市秋ヶ瀬の野鳥園でぐぜり(福井 亘)。

ミヤマホオジロ ◇11月11日、三峰山で5羽(山岸昭治)。

オオジュリン ◇11月4日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。

アトリ ◇11月11日、三峰山で約150羽。23日には約200羽(山岸昭治)。

マヒワ ◇11月11日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で約20羽(福井 亘)。◇11月23日、三峰山で約30羽(山岸昭治)。

ウソ ◇11月6日、滑川町の森林公園の彫刻広場で1羽。7日には溪流広場で♀1羽。サクラの芽をついばんでいた(田中利彦)。

◇11月11日、三峰山で鳴き声を聞く。11月23日にも鳴き声を聞く(山岸昭治)。◇11月11日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で♂1羽♀2羽(福井 亘)。◇11月14日、入間市の狭山丘陵で少なくとも1羽(佐藤方博)。

シメ ◇11月4日、幸手市木立の中川で1羽(秋間利夫)。◇11月18日、浦和市秋ヶ瀬の野鳥の森で1羽(小谷野勝栄)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト1991 入選作

コハクチョウ (ガンカモ科)

シャーベットホワイトのパレットの中にたずむようなコハクチョウ。群れから少し離れ、一人孤独を楽しむように、ジーとポーズをとってくれました。

「白」が思ったように出てくれました。プ

ルー&ホワイトのトーンをねらった作品です。

1990年1月18日 猪苗代湖にて

ペンタックス SFXN ズーム35~70mm
1/250秒 F5.6 RDP

町田好一郎(本庄市)

行事あんない



熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月9日（日）
集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9：00発または秩父鉄道
寄居8：52発に乘車
担当：諏訪隆久、岡安征也、林滋、関口善孝、
諏訪夕香子、菱沼一充、神沼幸三郎
見どころ：真冬の大麻生で意外な出会い。突
然の奇妙な声はアオゲラ。林からいき
なり飛び出したトラツグミ。大麻生を
歩くときは、いつもドキドキ。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月9日（日）
集合：午前9時10分西武線西武球場前駅前
担当：三田長久、福井恒人、佐久間博文、石
井幸男、小野光明、杉本秀樹、柳原正昭
見どころ：湖の女王・カンムリカイツブリ。
湖面に優雅な影を落とすクィーンたち。
そろそろ夏の冠にお召しかえの季節。
注意：冷たい風が吹きます。防寒対策お忘れ
なく。

長瀬町・長瀬探鳥会

期日：2月11日（火・祝）
集合：午前10時 秩父鉄道長瀬駅前
交通：秩父鉄道熊谷9：20発または東武東上
線川越8：53発に乘車
解散：午後2時頃、白鳥荘にて
担当：林滋、町田好一郎、諏訪隆久、菱沼一
充

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予
約申込みの必要はありません。受付は探鳥会
当日。参加費は一般 100円。会員及び中学生
以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、
ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行で
す。解散時刻は、特に記載のない場合、正午
から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会
埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当
者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私
達もあなたを探していますので、ご心配なく。

見どころ：清流にオシドリの艶姿。観光客の
少ない厳冬期の長瀬で、溪流の美しさ、
野鳥の美しさをたっぷりお楽しみ下さ
い。一般向きの約 2.5kmのコースを歩
きます。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月11日（火・祝）
集合：午前7時20分 公園北口駐車場
交通：高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から
上尾車庫行き7：03発に乘車、終点下
車、徒歩10分
担当：乗田実、吉原俊雄、赤瀬征雄、立岩恒
久

見どころ：朝一番から、思いきり鳥を見る。
まだ誰も足を踏み入れていないから、
公園内にも周辺の林にも鳥がいっぱい。
冬でもやっぱり、早朝がおもしろい。

群馬県・裏妙義探鳥会

期日：2月15日（土）
集合：午前9時20分 JR高崎線横川駅改札口
交通：大宮6：56発各停または大宮7時35発
新特急谷川1号に乘車、高崎で各停8
：39発に乗り換え
担当：小林みどり、松井昭吾
見どころ：妙義の奇峰と山の鳥。大自然のアー
ト・妙義山を背景に、群れ飛ぶマヒワ
やアトリ。そして、空の高みにはイヌ
ワシ！
注意：片道5kmのコースです。しっかりした
靴でお越し下さい。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：2月16日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子、田口浩司

見どころ：春の足音を聞きに……陽だまりにオオイヌノフグリの青い星。頭上に降りそそぐヒバリのアリア。もう少しで、春に手が届きそう。

滑川町・森林公園探鳥会

期日：2月16日（日）

集合：午前10時 森林公園南口駐車場

交通：東武東上線森林公園駅から東武バス森林公園南口行き9：42発に乗車、南口下車

費用：参加費の他、入園料（360円、子供80円）が必要です。

担当：森本國夫、榎本秀和、内藤義雄、逸見峻

見どころ：見えそで見えない小さな鳥たち。キクイタダキやエナガの姿を双眼鏡でキャッチするのは、なかなかむずかしい。小鳥類の多い森林公園で練習して下さい。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：2月16日（日）

集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口、東武バス伊勢崎行乗車口（集合後、現地までバス利用）

担当：町田好一郎、北川慎一、林滋、諏訪隆久

見どころ：赤城おろしに耐えるカモの群れ。寒風の中で、じっと旅立ちの日を待つヒドリガモやカワアイサ。もちろん我々も寒い思いをします。防寒対策は充分に。なお、トイレ付探鳥地ですので、そちらの方は心配ご無用。

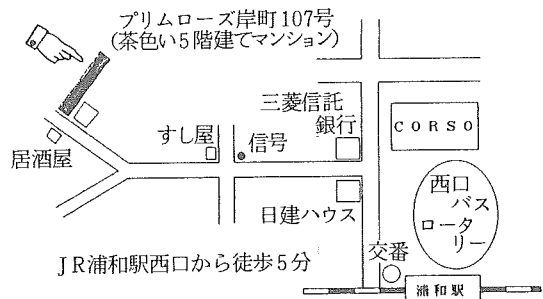
『しらこぼと』袋づめの会

とき：2月22日（土）午後1時～2時頃

会場：支部事務局（地図参照）

案内：初めての方のご参加をお待ちしています。浦和駅から徒歩5分程。迷っちゃったら電話して下さい。助けにいらっしゃいます。

事務局は ここです！



野鳥写真クラブ定例会

とき：2月22日（土）午後2時頃～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

案内：ビデオ大流行の兆し？写真クラブではビデオの作品も受け付けております。あなたも小さな映画作りにチャレンジしてみませんか。

3月1日（日） 日野溪谷探鳥会

3月8日（日） 大麻生定例探鳥会
西川越探鳥会

3月14日（土） 高尾山探鳥会



マガン群翔（榎本秀和）

行事報告

11月4日(月、振休) 浦和市 秋ヶ瀬

人 34人 天気 晴 鳥 ダイサギ コサギ
オオタカ チョウゲンボウ タゲリ タシギ
シラコバト キジバト ヒバリ ハクセキレイ
タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ セツ
カ カシラダカ アオジ オオジュリン カ
ワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス (23種) バンの居る池に
は釣り人、キジも鳴かず、カルガモまで欠席
で残念。(福井恒人)

11月4日(月、振休) 吉見町 吉見百穴周辺

人 67人 天気 快晴 鳥 カイツブリ カ
ワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ マガモ
カルガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシ
ハジロ キンクロハジロ トビ オオタカ
ハイタカ ノスリ キジバト コゲラ キセ
キレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ
ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグ
イス シジュウカラ メジロ ホオジロ カ
シラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズ
メ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガ
ラス ハシブトガラス (38種) 穏やかな日和
に誘われて、集まった人が何と67人。リーダー
の予想を上まわる大盛況となった。大沼へ向
かう道筋では、次々に鳥が姿を見せてくれて
みんな満足。ところが大沼まで来てびっくり。
早朝の下見のときにはたくさんいたカモが、
釣り人やラポートやらで1羽もないではないか。
それに次々通る車で探鳥どころではない。
急遽、天神沼まで足を伸ばして帳尻を合
わせることにした。最後に、集合場所・時間
の関係で一部の方にご迷惑をおかけしたこと
をお詫びしておきたい。(榎本秀和)

11月10日(日) 熊谷市 大麻生

人 33人 天気 晴 鳥 カイツブリ ダイ

サギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ
コガモ コジュケイ イカルチドリ ハマン
ギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセ
キレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨド
リ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス
クイタダキ ヤマガラ シジュウガラ メ
ジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワ
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス
ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 冬
の間近な大麻生。北国から、山から多くの鳥
たちがやってきた。私たちの通り道の水たまり
でアオジとシメが水浴びをしていて、しば
らく足止め。シジュウカラが日当りの良い枝
でひなたぼっこ。河原では、イカルチドリや
カモたちが翼を休めていた。雨天中止が続い
て3カ月ぶりの探鳥会となり、お久しぶり
という挨拶がそここで聞かれた。(諏訪隆久)

11月17日(日) 浦和市 三室地区

人 34人 天気 曇 鳥 カワウ コサギ
カルガモ コガモ オナガガモ キンクロハ
ジロ スズガモ チョウゲンボウ タゲリ
タカブシギ イソシギ タシギ ユリカモメ
シラコバト キジバト カワセミ コゲラ
ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロ
セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ
ウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シ
メ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガ
ラス ハシブトガラス (38種) 県南、県央、
秩父と3カ所で探鳥会が行われた晩秋の日曜
日、三室の里も会員の皆様の情熱に応じて、
多くの鳥が出現しました。チョウゲンボウは
ホバリングを行い、タゲリはひらひらと空に
舞い、カワセミは芝川にブルーの線を引いて
くれました。特にジョウビタキは、オスもメ
スも登場して、可愛い目を披露しました。ま

た、シラコバトが身近に見られたのも、素晴らしいことでした。参加者より鳥が多く出現した探鳥会でした。(楠見邦博)

11月17日(日) 桶川市 川田谷

人 37人 天気 曇 鳥 ダイサギ コサギ カルガモ コガモ キジ タゲリ タシギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 曇りがちの肌寒い日。一年ぶりの川田谷はだいぶ埋め立てが進んでいる。それでも50羽ほどのタゲリの群れをはじめとして、カモやホオジロ類はたくさん見られた。もうすぐ道路になってしまうことも知らずに、鳥たちはこの場所に頼ってけなげに生きている。この先、この場所がどう変化して行くのか分からないけれど、川田谷の野鳥を今後も見守って行きたい。(榎本秀和)

11月22~24日(金~日) 新潟ツアー

人 37人 天気 曇雨 鳥 カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ウミウ ダイサギ コサギ アオサギ マガン ヒシクイ オオハクチョウ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ オカヨシガモ ヒドリガモ アメリカヒドリ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ クロガモ ミコアイサ トビ オジロワシ ノスリ チュウヒ ハヤブサ チョウゲンボウ キジバン オオバン タゲリ ユリカモメ セグロカモメ カモメ ウミネコ キジバト コミミズク ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ イソヒヨドリ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (62種) 鳥屋野潟、福島潟、瓢湖、佐潟を巡り、それぞれの場所で、いくつかの素晴らしい場面に出会うことができた。なかでもハヤブサがコガ

モを襲い、足に下げて飛んだところは、誰もが感動したのでは。ビデオを楽しませてくれた町田さん、伊藤さん、暖かくもてなしてくれた民宿のおばさん、また、参加者全員の協力により、素晴らしい探鳥会ができたことを感謝します。(中島康夫)

11月24日(日) 狭山市 入間川

人 45人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイサギ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ トビ チョウゲンボウ ハマシギ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 風が強いせいか小鳥は草の中にかくれてあまり顔を出さない。カワセミも何度か現れたが、ゆっくり観察できない。おまけに100羽以上はいるハマシギもポイントへ行く前に飛んで行ってしまった。ちょっとついてない一日だった。

(長谷部謙二)

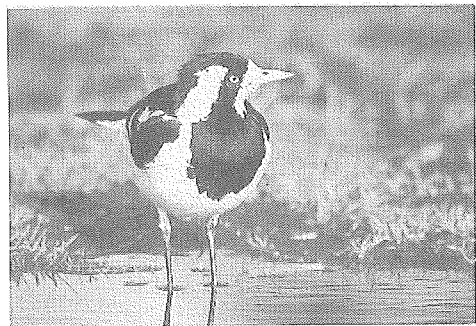
11月30日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

作業を楽しんだ人 荒木恒夫、石井幸男、岩波勇一、海老原教子、角田真喜子、墨江光子、丹茂子、根本暁子、馬場昇、渡辺光行 (10人)

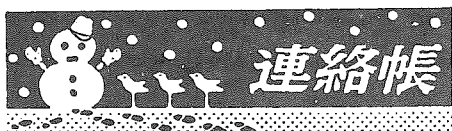
11月30日(土) 写真クラブ定例会

参加者 17人

作品発表 スライド3人 ビデオ2人



オーストラリアにて(登坂久雄・八王子市)



日本野鳥の会の自然保護

活発な活動を続ける自然保護団体として、日本野鳥の会の理念は先に文章化されましたが、更にその理念に基づいてどのような考え方で自然保護活動を展開していくかを、現在文章にまとめる作業が進められています。

そんな文章はいらない、実際に保護活動をしていれば良いのだというのもひとつの考え方でしょうが、今後の野鳥の会の進む方向を明確に示し、場あたりのではない、一貫した力強い活動を継続していくためには、必要な作業です。

当支部からは海老原副支部長が理事として、松井副支部長が評議員として意見を述べる立場にいます。ご意見をお聞かせください。

新調査への移行検討中

毎年1月15日に全国で一斉に実施されているガンカモ調査はすでに多くの成果を上げてきましたが、現在本部研究センターを中心に、新しい方法での調査に移行することが検討されています。

従来の全国同じ日に調査を行う方法は、各地域でのガンカモ類生息の最大個体数を数えられないなどいくつかの問題点が出てきたので、5年間で1単位として、森林や草原、干潟、湖沼の鳥類の生息状況を調査していく方法に移行したいとするものです。

全国支部を対象にしたアンケート調査(12月10日まとめ)では、新調査の必要性については81.1%が認めましたが、移行の是非については、移行する52.8%、しない24.5%、無回答22.6%という結果が出ています。

仮に全国の調査としては新調査に移行しても、支部独自の調査として従来通りのガンカモ調査を続ける事は当然できます。支部としての対応については、研究部を中心に役員会で検討しています。

今年も甲府レンジャク調査隊

甲府支部からの調査協力依頼です。レンジャクを観察したら、観察地、観察地の区分(市街地・郊外・山野など)、観察年月日、羽数などを、〒400 甲府市

甲府レンジャク調査隊()までお知らせください。埼玉県内での観察の時は、こちらの「野鳥情報」にもお忘れなく。

2月の土曜日当番(2時~6時)

- 1日 楠見邦博 立岩恒久
- 8日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 15日 中島康夫 内藤義雄
- 22日 袋づめの会(1時から)
- 29日 海老原教子

会員数は

1月1日現在 1,741人です

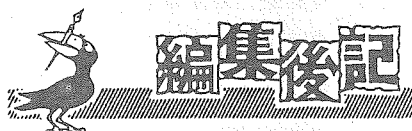
活動報告

12月2日 『しらこぼと』12月号浦和中郵便局から発送(事務局)。

12月7日 編集会議(12月号の反省・1月号編集作業・2月号以降の企画など)。普及部会議(行事予定・探鳥会の運営など)。

12月15日 役員会議(司会・伊藤芳晴、各部の報告・行事予定・探鳥会の運営方法・その他)。

12月25日 1月号郵便局から発送(事務局)。



今シーズンは赤い鳥が少ない! ソビエト連邦の崩壊で、鳥たちも渡りどころではなくなくなってしまったのだろうか。いや、大陸は深刻な食料不足に陥っているのだから、日本のどこかに渡って来ているはず。ではなぜ赤い鳥たちは私の前には姿を見せないのか。飽食の日本ではエサが十分があるので、マナーの悪い人間の前には姿を現さないですむということか…… (田口浩司)

『しらこぼと』1992年2月号(第93号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062
 〒336 浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130
 印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)